



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月9日

上場会社名 株式会社フジシールインターナショナル
コード番号 7864 URL <https://www.fujiseal.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表執行役社長 C00 (氏名) 城川 雅行
問合せ先責任者 (役職名) IR担当マネージャー (氏名) 植田 将二郎 TEL 06-6350-1080

四半期報告書提出予定日 2023年2月10日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	136,141	6.8	6,196	△34.9	6,063	△37.4	3,394	△37.6
2022年3月期第3四半期	127,517	5.3	9,512	△0.9	9,682	6.7	5,442	△12.5

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 14,101百万円 (122.2%) 2022年3月期第3四半期 6,347百万円 (17.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	61.99	-
2022年3月期第3四半期	99.36	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	183,461	121,707	66.3	2,222.11
2022年3月期	164,646	109,492	66.5	1,999.85

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 121,707百万円 2022年3月期 109,492百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	17.00	-	18.00	35.00
2023年3月期	-	17.00	-	-	-
2023年3月期(予想)	-	-	-	18.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	182,000	6.9	7,700	△27.2	7,600	△28.3	4,100	△33.0	74.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2023年2月9日)に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期3Q	60,161,956株	2022年3月期	60,161,956株
2023年3月期3Q	5,390,936株	2022年3月期	5,411,891株
2023年3月期3Q	54,762,684株	2022年3月期3Q	54,769,031株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	10
(会計方針の変更)	10
(追加情報)	10
(四半期連結損益計算書関係)	11
(セグメント情報)	12
(重要な後発事象)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上高1,361億41百万円（前年同期比6.8%増）、営業利益61億96百万円（前年同期比34.9%減）、経常利益60億63百万円（前年同期比37.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は33億94百万円（前年同期比37.6%減）となりました。

（単位：百万円）

	2022年3月期 第3四半期連結累計期間	2023年3月期 第3四半期連結累計期間	増減率
売上高	127,517	136,141	6.8%
営業利益	9,512	6,196	△34.9%
経常利益	9,682	6,063	△37.4%
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,442	3,394	△37.6%
米ドル平均為替レート（円）	108.58	128.30	18.2%
ユーロ平均為替レート（円）	129.87	136.05	4.8%

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

（単位：百万円）

	2022年3月期 第3四半期連結累計期間	2023年3月期 第3四半期連結累計期間	増減率	現地通貨 増減率
日本				
シュリンクラベル	35,108	36,346	3.5%	—
タックラベル	7,329	7,012	△4.3%	—
ソフトパウチ	12,710	15,307	20.4%	—
機械	3,988	3,881	△2.7%	—
その他	9,887	9,638	△2.5%	—
売上高合計	69,025	72,186	4.6%	—
営業利益	6,259	5,764	△7.9%	—
米州				
シュリンクラベル	25,359	31,113	22.7%	3.8%
タックラベル	876	1,385	58.0%	33.7%
ソフトパウチ	401	249	△37.8%	△47.4%
機械	3,762	3,286	△12.7%	△26.1%
その他	990	833	△15.9%	△28.8%
売上高合計	31,390	36,868	17.5%	△0.6%
営業利益	2,994	1,809	△39.6%	△48.8%
欧州				
シュリンクラベル	10,079	11,424	13.3%	8.2%
タックラベル	4,977	4,103	△17.5%	△21.3%
ソフトパウチ	114	139	21.6%	16.1%
機械	5,725	5,108	△10.8%	△14.8%
売上高合計	20,896	20,776	△0.6%	△5.1%
営業利益	110	△975	—	—

	2022年3月期 第3四半期連結累計期間	2023年3月期 第3四半期連結累計期間	増減率	現地通貨 増減率
アセアン				
シュリンクラベル	5,417	6,278	15.9%	△1.9%
タックラベル	134	165	23.1%	4.1%
ソフトパウチ	5,928	5,950	0.4%	△15.1%
機械	315	230	△27.0%	△38.2%
その他	168	205	22.2%	3.4%
売上高合計	11,964	12,830	7.2%	△9.2%
営業利益	218	△57	—	—

（日本）

シュリンクラベルは売上高363億46百万円（前年同期比3.5%増）、タックラベルは売上高70億12百万円（前年同期比4.3%減）、ソフトパウチは売上高153億7百万円（前年同期比20.4%増）、機械は売上高38億81百万円（前年同期比2.7%減）、その他は売上高96億38百万円（前年同期比2.5%減）となりました。

その結果、日本全体の売上高は721億86百万円（前年同期比4.6%増）、損益面は営業利益57億64百万円（前年同期比7.9%減）となりました。

（米州）

シュリンクラベルは売上高311億13百万円（前年同期比22.7%増、現地通貨ベース3.8%増）、タックラベルは売上高13億85百万円（前年同期比58.0%増、現地通貨ベース33.7%増）、ソフトパウチは売上高2億49百万円（前年同期比37.8%減、現地通貨ベース47.4%減）、機械は売上高32億86百万円（前年同期比12.7%減、現地通貨ベース26.1%減）、その他は売上高8億33百万円（前年同期比15.9%減、現地通貨ベース28.8%減）となりました。

その結果、米州全体の売上高は368億68百万円（前年同期比17.5%増、現地通貨ベース0.6%減）、損益面は営業利益18億9百万円（前年同期比39.6%減、現地通貨ベース48.8%減）となりました。

（欧州）

シュリンクラベルは売上高114億24百万円（前年同期比13.3%増、現地通貨ベース8.2%増）、タックラベルは売上高41億3百万円（前年同期比17.5%減、現地通貨ベース21.3%減）、ソフトパウチは売上高1億39百万円（前年同期比21.6%増、現地通貨ベース16.1%増）、機械は売上高51億8百万円（前年同期比10.8%減、現地通貨ベース14.8%減）となりました。

その結果、欧州全体の売上高は207億76百万円（前年同期比0.6%減、現地通貨ベース5.1%減）、損益面は営業損失9億75百万円（前年同期は営業利益1億10百万円）となりました。

（アセアン）

シュリンクラベルは売上高62億78百万円（前年同期比15.9%増、現地通貨ベース1.9%減）、タックラベルは売上高1億65百万円（前年同期比23.1%増、現地通貨ベース4.1%増）、ソフトパウチは売上高59億50百万円（前年同期比0.4%増、現地通貨ベース15.1%減）、機械は売上高2億30百万円（前年同期比27.0%減、現地通貨ベース38.2%減）、その他は売上高2億5百万円（前年同期比22.2%増、現地通貨ベース3.4%増）となりました。

その結果、アセアン全体の売上高は128億30百万円（前年同期比7.2%増、現地通貨ベース9.2%減）、損益面は営業損失57百万円（前年同期は営業利益2億18百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産、負債及び純資産の状況）

当第3四半期連結会計期間末における総資産は1,834億61百万円となり、前連結会計年度末と比較し188億15百万円の増加となりました。

その主な要因は、受取手形及び売掛金（電子記録債権を含む）が86億円増加したこと、棚卸資産が84億9百万円増加したこと、有形固定資産が68億13百万円増加したこと、現金及び預金が56億6百万円減少したことなどによるものであります。

負債合計は617億54百万円で、前連結会計年度末と比べ66億円の増加となりました。これは支払手形及び買掛金（電子記録債務を含む）が39億37百万円増加したことなどによるものであります。

純資産合計は1,217億7百万円で、前連結会計年度末と比べ122億14百万円の増加となりました。これは利益剰余金が14億78百万円増加したこと、為替換算調整勘定が104億10百万円増加したことなどによるものであります。

（キャッシュ・フローの状況）

当第3四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、29億25百万円の収入（前年同期は102億16百万円の収入）となりました。これは税金等調整前四半期純利益54億83百万円、減価償却費57億65百万円などの計上、仕入債務の増加額29億46百万円などによる収入、売上債権の増加額50億62百万円、棚卸資産の増加額58億80百万円、法人税等の支払額29億24百万円などによる支出によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、83億9百万円の支出（前年同期は79億31百万円の支出）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出83億78百万円などによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、51億63百万円の支出（前年同期68億33百万円の支出）となりました。これは、借入金の減少30億32百万円、配当金の支払額19億16百万円などによるものであります。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ83億10百万円減少の157億94百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年2月9日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり2022年5月11日に公表いたしました2023年3月期の通期連結業績予想を修正いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,860	20,253
受取手形及び売掛金	40,854	47,099
電子記録債権	10,206	12,561
商品及び製品	7,772	11,089
仕掛品	4,127	6,356
原材料及び貯蔵品	7,956	10,820
その他	4,533	5,335
貸倒引当金	△183	△223
流動資産合計	101,126	113,292
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	21,131	21,983
機械装置及び運搬具（純額）	18,976	20,237
工具器具備品（純額）	2,013	1,950
土地	6,989	8,379
リース資産（純額）	292	258
建設仮勘定	5,647	9,022
その他（純額）	908	939
有形固定資産合計	55,958	62,772
無形固定資産		
のれん	107	67
その他	1,402	1,540
無形固定資産合計	1,510	1,607
投資その他の資産		
投資有価証券	3,776	3,997
繰延税金資産	1,584	1,244
その他	732	593
貸倒引当金	△43	△46
投資その他の資産合計	6,050	5,788
固定資産合計	63,519	70,168
資産合計	164,646	183,461

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,758	15,633
電子記録債務	11,179	13,241
短期借入金	4,382	9,324
1年内返済予定の長期借入金	5,038	11
リース債務	91	77
未払金	3,887	3,304
未払法人税等	817	316
賞与引当金	1,630	939
その他	7,811	11,321
流動負債合計	48,596	54,171
固定負債		
長期借入金	2,387	3,002
リース債務	133	107
繰延税金負債	570	801
退職給付に係る負債	2,630	2,749
その他	834	921
固定負債合計	6,557	7,582
負債合計	55,153	61,754
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,990	5,990
資本剰余金	6,603	6,600
利益剰余金	97,677	99,155
自己株式	△8,512	△8,479
株主資本合計	101,758	103,266
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,297	1,552
為替換算調整勘定	6,259	16,670
退職給付に係る調整累計額	176	217
その他の包括利益累計額合計	7,733	18,440
純資産合計	109,492	121,707
負債純資産合計	164,646	183,461

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	127,517	136,141
売上原価	103,161	113,929
売上総利益	24,355	22,211
販売費及び一般管理費	14,843	16,015
営業利益	9,512	6,196
営業外収益		
受取利息	17	58
受取配当金	66	76
還付加算金	63	137
為替差益	100	—
廃棄物リサイクル収入	21	21
その他	36	30
営業外収益合計	305	325
営業外費用		
支払利息	49	77
為替差損	—	310
休止固定資産減価償却費	77	68
その他	9	1
営業外費用合計	135	458
経常利益	9,682	6,063
特別利益		
固定資産売却益	13	21
投資有価証券売却益	4	107
受取保険金	※1 242	—
ゴルフ会員権売却益	—	2
特別利益合計	260	131
特別損失		
固定資産除売却損	113	110
投資有価証券売却損	—	0
組織再編費用	※2 1,477	※2 550
減損損失	—	※3 38
子会社清算損	—	※4 11
特別損失合計	1,590	712
税金等調整前四半期純利益	8,352	5,483
法人税、住民税及び事業税	2,569	1,731
法人税等調整額	341	357
法人税等合計	2,910	2,088
四半期純利益	5,442	3,394
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,442	3,394

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	5,442	3,394
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△97	254
為替換算調整勘定	2,504	10,410
退職給付に係る調整額	△1,502	41
その他の包括利益合計	905	10,706
四半期包括利益	6,347	14,101
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,347	14,101
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,352	5,483
減価償却費	6,010	5,765
減損損失	—	38
子会社清算損益 (△は益)	—	11
のれん償却額	33	37
組織再編費用	1,477	550
受取保険金	△242	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1	3
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△754	△755
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△43	85
ゴルフ会員権売却損益 (△は益)	—	△2
固定資産除売却損益 (△は益)	100	88
投資有価証券売却損益 (△は益)	△4	△107
受取利息及び受取配当金	△84	△135
支払利息	49	77
為替差損益 (△は益)	△33	△298
売上債権の増減額 (△は増加)	△782	△5,062
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,039	△5,880
仕入債務の増減額 (△は減少)	△675	2,946
未払金の増減額 (△は減少)	△395	△188
その他	1,418	3,122
小計	13,388	5,779
利息及び配当金の受取額	85	134
利息の支払額	△57	△64
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△3,443	△2,924
保険金の受取額	242	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,216	2,925
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,548	△8,378
有形固定資産の売却による収入	41	12
無形固定資産の取得による支出	△607	△387
投資有価証券の取得による支出	△28	△27
投資有価証券の売却による収入	81	331
事業譲渡による収入	279	—
貸付けによる支出	△59	—
貸付金の回収による収入	4	5
補助金の受取額	42	—
その他	△137	134
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,931	△8,309
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,653	2,000
長期借入金の返済による支出	△1,077	△5,032
自己株式の取得による支出	△1,020	△0
配当金の支払額	△1,812	△1,916
その他	△269	△214
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,833	△5,163
現金及び現金同等物に係る換算差額	569	2,237
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,979	△8,310
現金及び現金同等物の期首残高	21,549	24,105
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,570	15,794

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

（有形固定資産の減価償却方法の変更）

有形固定資産（リース資産を除く）の減価償却方法については、従来、当社及び国内連結子会社は主に定率法（ただし、1998年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物は定額法）を採用する一方、在外連結子会社は主に定額法を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より当社及び国内連結子会社においても定額法に変更しております。

当社グループは、環境課題の対応ニーズの加速や消費者ライフスタイル多様性の加速、消費地の拡大等の社会や市場の変化に対応すべく、中期経営計画において戦略・成長投資を計画し、当連結会計年度より一部の設備の稼働を開始いたしました。これを契機として、減価償却方法の再検討を実施いたしました。その結果、これまでの有形固定資産の使用状況及び将来の使用計画等から、当社グループの生産設備等は耐用年数にわたって長期安定的に稼働することが見込まれるため、耐用年数にわたり費用を均等に配分する定額法が固定資産の使用実態をより適切に表すと判断いたしました。

また、中期経営計画では、海外売上比率の増加を目指しております。その一環として、グループ全体で有形固定資産の減価償却方法を統一することで、当社グループにおける投資判断や業績管理により有用な情報を提供できると判断いたしました。

これにより、従来の方と比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益は431百万円、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ453百万円増加しております。

（追加情報）

（グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用）

当社及び国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」（実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。）に従っております。また、実務対応報告第42号第32項（1）に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(四半期連結損益計算書関係)

※1 受取保険金

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

2019年11月に発生した当社の連結子会社 株式会社フジシール(筑波工場)の火災事故に伴う利益補填に係る保険金であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

該当事項はありません。

※2 組織再編費用

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

Fuji Seal Switzerland AGのタックラベル事業の譲渡に伴い発生した損失を計上しております。

その内訳は、退職給付制度の縮小により発生した損失1,162百万円、棚卸資産評価損187百万円、減損損失127百万円(機械装置他)であります。

なお、組織再編費用のうち、減損損失に係るものは、以下のとおりであります。

用途	場所	種類	金額(百万円)
売却予定資産	Fuji Seal Switzerland AG (スイス/グラブス)	機械装置他	127

当社グループは、原則として事業用資産については継続的に収支の管理を行っている管理会計上の事業区分を基準としてグルーピングを行っており、遊休資産及び処分予定資産については個別資産ごとにグルーピングを行っております。

上記の資産については、事業譲渡の契約締結に伴いその帳簿価額を回収可能価額まで減額いたしました。なお、当事業用資産の回収可能価額は正味売却価額により測定しており、売却価額により評価しております。当該資産は当第3四半期連結会計期間内に売却を完了しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

欧州域内の構造改革に係る人員削減費用293百万円、及びFuji Seal Poland Sp. zo. o.のパウチ事業設備の休止に伴う減損損失257百万円であります。

※3 減損損失

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

以下の資産グループにおいて減損損失を計上しております。

用途	場所	種類	金額(百万円)
遊休資産	Fuji Seal Poland Sp. zo. o. (ポーランド/クトノ)	機械装置他	257
売却予定資産	株式会社フジシール 奈良事業所 (奈良県/磯城郡)	建物及び土地他	38

(注) Fuji Seal Poland Sp. zo. o.のパウチ事業設備の休止に伴い発生した減損損失257百万円(機械装置他)は、組織再編費用として表示しております。(※2参照)

当社グループは、原則として事業用資産については継続的に収支の管理を行っている管理会計上の事業区分を基準としてグルーピングを行っており、遊休資産及び処分予定資産については個別資産ごとにグルーピングを行っております。

上記の資産のうち、Fuji Seal Poland Sp. zo. o.の遊休資産については、帳簿価額を回収可能価額まで減額いたしました。株式会社フジシール奈良事業所の売却予定資産については、売却の意思決定に伴いその帳簿価額を回収可能価額まで減額いたしました。なお、当遊休資産及び当売却予定資産の回収可能価額は正味売却価額により測定しており、売却価額により評価しております。

※4 子会社清算損

前第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

当社連結子会社のPT. Fuji Seal Packaging Indonesiaを清算したことによるものです。

(セグメント情報)

報告セグメントの概要

当社及び連結子会社は、シュリンクラベル・タックラベル・ソフトパウチ及び機械などを中心としたパッケージングの企画、提案、開発、製造及び販売等の事業を展開しております。

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会において経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているもので、販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、当社の報告セグメントについては、「日本」、「米州」、「欧州」及び「アセアン」の4つで報告セグメントを構成しております。

(会計方針の変更)に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より当社及び国内連結子会社の有形固定資産（リース資産を除く）の減価償却方法を変更しております。

この変更に伴い、従来の方と比べ、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益が、「日本」で431百万円増加しております。

I 前第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 財務諸表計 上額(注2)
	日本	米州	欧州	アセアン	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	67,544	31,386	18,274	10,312	127,517	—	127,517
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,480	3	2,622	1,651	5,759	△5,759	—
計	69,025	31,390	20,896	11,964	133,276	△5,759	127,517
セグメント利益	6,259	2,994	110	218	9,581	△69	9,512

(注) 1. セグメント利益の調整額△69百万円は、主に未実現損益消去などのセグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメントのセグメント利益の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

米州：アメリカ、メキシコ

欧州：イギリス、オランダ、フランス、スペイン、ポーランド、スイス、ドイツ、イタリア

アセアン：インドネシア、ベトナム、タイ、インド

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「欧州」セグメントにおいて、組織再編に伴う減損損失127百万円（機械装置他）を計上しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 財務諸表計 上額(注2)
	日本	米州	欧州	アセアン	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	70,675	36,833	18,098	10,533	136,141	—	136,141
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,510	34	2,677	2,296	6,519	△6,519	—
計	72,186	36,868	20,776	12,830	142,661	△6,519	136,141
セグメント利益又は 損失(△)	5,764	1,809	△975	△57	6,541	△345	6,196

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△345百万円は、主に未実現損益消去などのセグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメントのセグメント利益又は損失(△)の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

米州：アメリカ、メキシコ

欧州：イギリス、オランダ、フランス、スペイン、ポーランド、スイス、ドイツ、イタリア

アセアン：インドネシア、ベトナム、タイ、インド

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「日本」セグメントにおいて、奈良事業所売却の意思決定に伴う減損損失38百万円（建物及び土地他）、「欧州」セグメントにおいて、組織再編に伴う減損損失257百万円（機械装置他）を計上しております。

（重要な後発事象）

当社は、2023年2月9日開催の取締役会において、当社の連結子会社であるFuji Seal Switzerland AGの解散及び清算手続きの開始を決定いたしました。詳細は、適時開示「海外子会社の解散及び清算に関するお知らせ」をご参照ください。

以 上